

氏 名：飯塚 淳

派遣元：群馬県 高崎市

派遣期間：H31.4.1～R元.6.30

所 属：地方・訓練担当

私は平成31年4月から令和元年6月までの3ヶ月間、研修生として内閣府防災地方・訓練担当の業務に携らせていただきました。主に、九都県市合同防災訓練と連携した被災地への現地調査訓練、現地対策本部運営訓練を担当させていただき、訓練実施に向けた業務を行う中で、多くのことを経験させていただきました。3ヶ月という期間はあまりに短く、訓練の企画・運営業務に携わっていましたが、実際に参加することが出来なかったのは非常に心残りです。

皆様にご指導いただいたことや研修で学んだことを市に持ち帰り、今後の業務に活かしていきたいと思えます。また、様々な省庁、自治体の方々と関係を構築出来たことは、この研修に参加したことの大きな財産となりました。

氏 名：今野 淳

派遣元：宮城県 石巻地区広域行政事務組合

派遣期間：R元.7.1～R元.9.30

所 属：地方・訓練担当

3ヶ月間という短い期間ではありましたが、行政実務研修生として内閣府（防災）の業務に携わらせていただき、ありがとうございました。

本研修に参加し、内閣府（防災）では、訓練や災害対応から出た課題に対して迅速かつ的確に対応しており、ときには他の担当と連携して対処するなど、課題に対する処理能力の高さと、横の繋がりや情報共有体制がしっかり構築されていると感じました。災害の歴史と沢山の命の犠牲の上に成り立っている防災行政において、災害から得た課題等はしっかり未来に活かしていく必要があると再認識しました。

また、OJT研修や有明の丘研修を通じ、多くの防災関係の方々と出会うことができました。この人的ネットワークは今後も大切にしていき、石巻広域消防の防災業務に活かしていきたいと思えます。

氏 名：松元 拓己

派遣元：東京都 大田区

派遣期間：R元.7.1～R元.9.30

所 属：地方・訓練担当

私は地方・訓練室で、関係省庁間の連携を図る『政府図上訓練』や、「防災の日」実施の『政府本部運営訓練』に関する業務に従事しました。その中で各省庁とのやりとりや、係内での課題検討の積み重ねを通じて、企画を一から作り上げることの難しさや、事前調整・準備の重要性を再認識しました。

また、今回のプログラムでは、大規模災害対応業務の経験者による講義や、有明の丘研修等、十数回もの研修・セミナーを受講し、防災に関する基礎知識の習得や、「顔の見える関係」を築くことができました。

3ヶ月という短い期間で得られた多くの経験・知識を、大田区の防災行政に還元していくとともに、形成した人的ネットワークを継続的に活用し、連携の輪を広げていきたいと思えます。

氏 名：新井 元太郎

派遣元：神奈川県 二宮町

派遣期間：R元.10.1～R元.12.31

所 属：地方・訓練担当

配属から約2週間後に、台風第19号が関東・甲信・東北地方を中心に猛威を振るいました。発災後、私自身も台風第19号に係る内閣府調査チームとして埼玉県及び福島県に派遣され、被災された方に寄り添う対応とは何かということ、現場において肌身をもって学ぶことができました。

また、自然災害が多発する我が国においては、被災すること自体を免れることは不可能であり、発災直後から復旧・復興の方策を速やかに構築し、それを実現することが重要であると再認識しました。

派遣元に帰任した後は、私の採用職種である消防業務を遂行することは勿論のこと、消防という枠組みを越えて、広く町防災行政推進のため、国民のために尽くしていきたいと思えます。

氏 名：池田 早紀

派遣元：神奈川県 小田原市

派遣期間：R元.10.1～R元.12.31

所 属：地方・訓練担当

基礎自治体では経験できないような貴重な経験をすることができました。特に、台風第 19 号対応で 2 週間長野県に派遣された際の多くの学びを、市に戻ってからどう生かせるか今からわくわくしています。

また、この 3 ヶ月で出会ったすべての方から学ぶものがあり、素敵な方々と過ごすことができた日々は私の人生の糧になると確信しています。皆様、本当にありがとうございました。この貴重な経験を本市職員の 1 人でも多くにしてもらいたいと思いました。

最後に、忙しい時期にもかかわらず、OJT 研修に送り出してくださった小田原市防災部の皆様に心から感謝をし、この 3 ヶ月を絶対に無駄にしないよう、きちんと報告・共有し、市の防災能力向上に尽力したいと思います。

氏 名：中村 雄貴

派遣元：静岡県 島田市

派遣期間 R元.10.1～R元.12.31

所 属：地方・訓練担当

内閣府（防災）に派遣後間もなく、台風第 19 号による被害が各地で発生し、10 月末に栃木県へ派遣となりました。現地派遣で印象に残っているのは避難所の状況です。発災から 2 週間経っていたため避難所内は落ち着いていましたが、床に毛布を敷いている様子が見られ、これから来る冬に不安を感じたことを覚えています。市職員ということもあり、避難所の環境整備を考えることは急務だと思いました。

また、現地派遣後には、台風第 15 号・19 号の対応を検証する仕事にも関わらせていただきました。この反省作業は、次の災害により良い状態で立ち向かうための大切な仕事だと感じました。

いずれの経験も、市にいただけでは得難いものでした。期間中に得られた人脈や経験を生かし、派遣元へ帰庁後も業務に取り組んでいきます。

氏 名：三富 応期

派遣元：埼玉県 和光市

派遣期間：R2.1.1～R2.3.31

所 属：地方・訓練担当

内閣府（防災）地方・訓練担当 OJT 研修生として、3 ヶ月間勤務させていただきました。

「緊急災害現地対策本部運営訓練」や「緊急災害対策本部事務局（物資チーム）運営訓練」など、今まで働いていた環境ではできない、とても貴重な経験をさせていただいたと思っております。

また、防災スペシャリスト養成研修にも多くのコースに参加させていただき、「災害対応の全体像」を把握することができました。

内閣府（防災）で共に働いたメンバーと協力し合い、経験したことや学んだ知識を活用して、今後とも災害に強いまちづくりを担っていけるよう、力を尽くして参ります。

氏 名：菅谷 祐士

派遣元：茨城県 境町

派遣期間：R2.1.1～R2.3.31

所 属：地方・訓練担当

私は、地方・訓練担当として主に研修の企画・運営の業務に携わりました。私がメインで担当させていただいた OJT 研修では、事務局兼研修生として内閣府や各省庁の取り組みの聴講を始め、防災施設の見学等、非常に貴重な経験をさせていただきました。

また、「有明の丘」研修では、3 ヶ月研修生という立場でありながら全 10 コースに参加させていただき、防災の基礎から専門的な分野に至るまでの幅広い知識を得ることが出来ました。本研修は、他自治体や講師との交流にも力を入れており、各自治体で抱える課題などを共有することで、自身の防災意識の向上にもつながりました。

こうした研修を通じて得た防災に関する知識だけではなく、人的ネットワークを今後も大切にし、派遣元での防災行政に活かしていきたいと思っております。